

記入例

交付印

※処理事項

審査

承認

交付

申請者住所

滋賀県〇〇市××町10

申請者住所
使用者証番号

令和 ××年 ××月 ××日

免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地

業種

免税軽油使用者証の番号及び氏名(名称)

申請者名と異なる場合は記入

(宛先)

滋賀県 〇〇 県税事務所長

滋賀県 第 ××-×-000× 号

滋賀 太郎

この申請に回答する係及び氏名並びに電話番号

(電話)

免税証交付申請書

機械、車両又は設備名(番号)

No. 1 〇〇トラクター No. 2 △△コンバイン No.

No. No. No.

所要数量合計

500

所要数量計算期間

××年 4月 1日 から

××年 3月 31日 まで

リットル

希望する販売業者名及び所在地

免税証の種類

枚数

数量

※処理事項

販売業者名

〇〇石油〇〇給油所

リットル券

100

4

リットル

400

50

2

100

店舗名(所在地)

〇〇市△町1-23

免税証の種類は、1L、5L、10L、18L、20L、50L、100L、200L、500L券等があります。

免税軽油を購入する給油所の名称と所在地を記入

計

500

前回交付を受けた免税証

左のうちの使用量

(イ) - (ロ)

計算期間

数量(イ)

期間

数量(ロ)

参

〇〇年4月1日 から

リットル

〇〇年4月1日 から

リットル

リットル

〇〇年3月31日 まで

400

〇〇年3月31日 まで

400

0

考

前回交付を受けた免税証に記載された販売業者以外の販売業者から免税軽油の引取を行った場合の販売業者の氏名または名称

数量

△石油××給油所

リットル

10

免税証に記載されていない販売業者から免税軽油を購入した場合に記載

所要数量計算の基礎

申請期間における作物別耕作面積（1反=約10a）

水稲	100 a	野菜(畑)	a
麦	50 a	大豆	50 a
		休耕田	a
		その他 (果樹・ハウス等)	a

記載要領

- この申請書は継続して免税証の交付を受けようとする場合において、交付を受けようとする県税事務所に免税軽油使用者証を提示して一通提出すること。
- 「※加算事項」欄は、申請者において記載することを要しないこと。
- 「機」を記載する場合は、設備名の番号のみを記載すること。
- 所要を必ず共同に記載した計算書

次のいずれかに該当する方は、報告書の提出期限を「免税証の有効期限の翌月末日」に延長できる「特例適用者の指定」の申請ができます。（申請をしない場合は、原則どおり毎月提出が必要となります。）

① 申請数量が年間12,000リットル以下の者

県税規則様式

免税軽油の引取り等に係る報告書提出期限の特例適用者指定申請書

令和××年×月×日

(宛先)

滋賀県 ○○ 県税事務局長

住所(所在地)

滋賀県○○市××町10

氏名

滋賀 太郎

(法人にあっては、その名称および代表者の氏名)

電話番号

077-123-4567

滋賀県税条例第58条の12第2項の規定による指定を受けたいので、同条第3項の規定により次のとおり申請します。

免税軽油使用者証番号	滋賀県 第 ××-×-000× 号
報告対象期間	交付される免税証の有効期間と同一
免税証の交付申請数量	500 リットル